

Q3 道徳教育の全体計画と、道徳科の年間指導計画の作成で大切なことは、どのようなことでしょうか。



校長が道徳教育の方針を明示し、道徳教育推進教師が中心となって、全教師の参加と協力により作成します。学校の重点目標に向かって教育活動を行うことができるように作成すること、理念だけに終わることなく、具体的な指導に生きて働く計画となることが大切です。

道徳教育の全体計画

学校における道徳教育の基本的な方針を示すとともに、学校の教育活動全体を通して、道徳教育の目標を達成するための方策を総合的に示した教育計画です。

道徳教育全体計画の内容

- 教育関係法規の規定，時代や社会の要請や課題，教育行政の重点施策
- 学校や地域社会の実態と課題，教職員や保護者の願い
- 児童の実態と課題
- 学校の教育目標，道徳教育の重点目標，各学年の重点目標
- 道徳科の指導の方針
- 年間指導計画を作成する際の観点や重点目標に関わる内容の指導の工夫，校長や教頭等の参加，他の教師との協力的な指導
- 各教科，外国語活動，総合的な学習の時間及び特別活動などにおける道徳教育の指導の方針，内容及び時期
- 特色ある教育活動や豊かな体験活動における指導の方針，内容及び時期
- 家庭，地域社会，他の学校や関係機関との連携の方法
- 道徳教育の推進体制



別業にして加える 例えば・・・

- 各教科等における道徳教育に関わる指導の内容及び時期を整理したもの
- 道徳教育に関わる体験活動や実践活動の時期等が一覧できるもの
- 道徳教育の推進体制や家庭・地域社会等との連携のための活動等が分かるもの

道徳教育を推進するためには、学習指導要領で示されている配慮事項を踏まえながら、学校としての指導内容の重点化を図ることが大切です。



道徳科の年間指導計画

道徳教育の全体計画に基づき、児童の発達の段階に即して計画的、発展的に行われるように組織された全学年にわたる年間の指導計画です。

- 指導の時期
- 主題名
- ねらい
- 教材
- 主題構成の理由
- 学習指導過程と指導方法
- 他の教育活動などにおける道徳教育との関連 など

計画的・発展的な指導とは・・・

道徳科が学校教育全体を通じて行う道徳教育の要としての役割を果たすことができるよう、計画的・発展的な指導を行うこと。

学校の道徳教育が目指す方向性を示すものです。学校で重点的に指導する内容を決めます。

学校の教育目標
やさしく、かしく、たくましく生きる子どもの育成

- よく考える子
- やさしく思いやりのある子
- 心身ともに健やかな子

児童の実態

- 元気にあいさつができる。
- 相手の思いを汲み取ることが十分ではなく、友達関係で悩み様子が見られる。

教職員・保護者の願い

- 真心を込めた挨拶や言葉遣いや態度を育てたい。
- 友達との間に信頼と切磋琢磨の精神を育てたい。

地域社会の要望

学校の道徳教育の重点目標を受けて、児童の発達段階や実態などから各学年に応じた、道徳教育の目標を考えます。学年ごとに示す場合もあります。

道徳教育の重点目標

- 時や場に応じて、適切な言葉遣いとあいさつができる児童の育成。（礼儀）
- 友達と仲良くし、理解し合い、信頼し、助け合おうとする児童の育成。（友情、信頼）

中学年	高学年	特別支援級
<ul style="list-style-type: none"> 誰に対しても心を込めてあいさつすることができる子 友達のよさを知り、互いに助け合う子 	<ul style="list-style-type: none"> 時と場をわきまえて礼儀正しく真心をもって接することができる子 友達と互いに信頼し、学び合って友情を深めようとする子 	<ul style="list-style-type: none"> 明るくあいさつができる子 友達と仲良くしようとする子

各教科の特質を踏まえた上で、各教科等の指導でどのような道徳教育を行うのかを明らかにします。

各教科の特質を踏まえた上で、各教科等の指導でどのような道徳教育を行うのかを明らかにします。

各教科における道徳教育

国語
伝え合う力を高めると共に、思考力や想像力及び言語感覚を養い、豊かな心を育てる。

社会
自他の人格を尊重し、社会的義務や責任を重んじ、公正に判断しようとする態度や能力などの公民としての資質・能力の基礎を養う。

算数
見通しをもち筋道を立てて考え工夫して生活や学習をしようとする態度を育てる。

理科
栽培や飼育などの体験活動を通して生命を尊重する態度や自然を愛する心情を育てる。

生活
生命を大切にすること、自分のよさや可能性への気づき、生活上必要な習慣を身に付け、自立した生活を豊かにしていくための資質・能力などを育てる。

音楽
音楽を愛好する心情と、音楽に対する感性を養い、美しいものや崇高なものを尊重する心を育てる。

美工
つくりだす喜びを味わうようにすることで、美しいものや崇高なものを尊重する心を育てる。

家庭
楽しい家庭をつくり、家族の役に立つことをしようとする態度を育成する。

体育
粘り強くやり遂げる、きまりを守る、集団に参加し協力するなどの態度を養う。

外国語・外国語活動
世界の中の日本人としての自覚をもち、国際的視野に立って、世界の平和と人類の幸福に貢献する心を育てる。他者を配慮し受け入れる寛容の精神や平和・国際貢献などの精神を育てる。

道徳科の指導の方針

道徳科以外における道徳教育と密接な関連を図りながら、計画的、発展的な指導によってこれを補ったり、深めたり、相互の関連を考えて発展させ、統合させたりすることで、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳性を養う。

- 友達との関わりを大切に、そのよさに気付くことができるような道徳科の授業を設定していく。
- 多様な価値観を大切にしながら、人間としての生き方を自他との関わり方から追究する態度を育成する。

学校や地域の特色を生かした取り組みや集団宿泊活動、ボランティア活動、自然体験などの体験活動などにおいて、どのように道徳性を養うのかを示します。

特色ある教育活動・体験活動

- 異年齢集団活動を通して、相手を思いやる心を育て、時と場をわきまえた礼儀正しい態度を育てる。
- 集団宿泊活動において、連帯感を高め、協調性を養う。
- 運営委員会を中心に「あいさつ運動」を実践し、気持ちの良いあいさつや行動を心がけようとする態度を育てる。
- 学校保健委員会では、健康問題を解決するために話し合いを行い、基本的な生活習慣について意識を高めていく。

特総合的な学習の時間における道徳教育

横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、現代社会の課題などに取り組むことで、自己の生き方を考えることができるようにするとともに、主体的に判断して学習活動を進めたり、粘り強く考え解決しようとしたりする資質や能力、自己の目標を実現しようとしたり、他者と協調して生活しようとしたりする態度を育てる。

特別活動における道徳教育

心身の調和のとれた発達と個性の伸長、自主的、実践的な態度、自己の生き方についての考え、自己を生かす能力を育成する。

〇学級活動
集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育成する。自らの生活を振り返り、自己の目標を定め、努力して健全な生活態度を身に付ける。

〇児童会
児童会活動を通して、異年齢による望ましい人間関係の形成やよりよい学校生活づくりに参画する態度を育成する。

〇クラブ活動
クラブ活動を通して、異年齢による望ましい人間関係の形成や個性の伸長、よりよいクラブ活動づくりに参画する態度を育成する。

〇学校行事
学校行事を通して、望ましい人間関係、自律的態度、心身の健康、協力、責任、公德心、勤労、社会奉仕などにかかわる道徳性の育成を図る。

家庭・地域との連携

学校・家庭・地域三者の相互理解を深める交流を密にし、協力体制を整える。

- 道徳科の授業公開や懇談会で心の教育について情報を共有していく。
- 学校ホームページで道徳教育全体計画を公表し、理解・協力を得る。
- 学校・学年・学級だよりで児童の様子を伝える。
- 幼稚園・保育園・中学校との連携・交流。
- 三校連携。
- 学校説明会および報告会。
- 道徳科の授業で、保護者・地域の方々からゲストティーチャーとして協力。

児童理解を生かした道徳教育

- 児童の実態に応じた生活目標の設定を行い、朝会で話をするすることで、生活目標を意識できるようにする。
- 学年段階に応じた基本的な生活習慣が身につけられるように指導を徹底する。

道徳教育の全体計画は、すべての教職員が共通理解、共通実践できるようにすることが大切です！

校内環境の整備

- 飼育栽培の環境整備、季節感のある自然環境の整備を通して、自然を大切にすることを育てる。
- 除草作業を通して、友達と協力して学校をきれいにしていこうとする心を育てる。
- 校長室前掲示板、学年掲示板で「心のコーナー」を設置し、思いやりの心を育てる掲示を行う。
- 階段に心を耕す掲示を行う。

◇道徳教育の全体計画（別葉） 第6学年 各教科等の内容をもとに道徳の内容を示した例

～道徳の時間と各教科及び外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動等との関連～

	4月	5月	6月
道徳	1 まどさんからの手紙—こどもたちへ D(22)よりよく生きる喜び 2 世界人権宣言から学ぼう C(12)規則の尊重 3 自分を信じて—鈴木明子 A(5)希望と勇気、努力と強い意志	4 めくもり A(4)個性の伸長 5 なれなかったリレーの選手 A(3)節度、節制 6 「すんまへん」でいい B(9)礼儀	7 ここを走れば C(12)規則の尊重 8 マイルール A(1)善悪の判断、自律、自由と責任 9 子ども会のキャンプ C(16)よりよい学校生活、集団生活の充実 10 みんな、おかしいよ！ B(11)相互理解、寛容
主な学校行事	入学式 1年生を迎える会 授業参観・懇談会 家庭訪問	健康診断 運動会 B(10)友情、信頼	避難訓練 D(19)生命の尊さ 校外学習（鎌倉） B(10)友情、信頼
国語	つないで、つないで、一つのお話① B(10)友情、信頼 支度① カレーライス⑤ 漢字の広場1① 春のいぶき①	笑うから楽しい⑦ 時計の時間と心の時間 学級討論会をしよう ⑧B(10)友情、信頼	漢字の形と音・意味② 私と本 森へ⑤ 漢字の広場2① 河鹿の屏風① C(17)伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 夏のさかり 保健病気の予防④ ソフトボール（ベースボール型）⑥ B(10)友情、信頼
体育	体ほぐしの運動③ B(10)友情、信頼	短距離走・リレー⑤ B(10)友情、信頼 マット運動⑥ B(10)友情、信頼	

縦軸が各教科等、横軸が時期

重点目標 友情、信頼

学年の重点目標を受けて、重点的な指導として反映していきます。各教科等の指導でどのような道徳教育を行うのかを明確にします。



◇道徳教育全体計画（別葉） 第1学年 道徳の内容項目をもとに教育活動を示した例

縦軸が内容項目、横軸が各教科等と時期

学年の重点目標を中心に各教科等の関連を作成していきます。全て内容項目に入れ込む必要はありません。

重点目標

内容	教科					
	国語	月	算数	月	生活	月
A(1) 善悪の判断、自律、自由と責任						
A(2) 正直、誠実						
A(3) 節度、節制						
A(4) 個性の伸長	すきな こと、 なあに	7			あきとももだち になろう	11
A(5) 希望と勇気、努力と強い意志			たしざん	10		
B(6) 親切、思いやり	たぬきの 糸車 だって だって の おばあさん	2 3	あたらしい1 年生がくるよ	3	かぞくにここに 大きくせん	1
B(7) 感謝	てがみで しら せよう	1				



◇第1学年 道徳科の年間指導計画 例



各学年段階の内容項目について、相当する各学年において全て取り上げます。その上で、学校が重点的に指導しようとする内容項目の指導時間数を増やし、一定の期間において繰り返し取り上げる、何回かに分けて指導するなどの配列を工夫したり、内容項目によっては、ねらいや教材の質的な深まりを図ったり、問題解決的な学習・体験的な学習など、多様な指導方法を用いたりするなどの工夫が考えられます。道徳科では、学校の道徳教育の重点目標に向かって、意図的・計画的に教育活動を行っていきます。

なぜこの資料を選定したのか、簡潔に示します。

ねらいとする道徳的価値や道徳性の諸様相を端的に表します。

ねらいを踏まえて、どのような手順で学習を進めるのかを簡潔に記述します。

授業に至るまでの関連性がある教育活動を示します。

月	【主題名】 内容項目 教材名	主題構成の理由	ねらい	学習指導過程と指導方法	他の教育活動 などにおける 道徳教育との 関連	備考
4月	【がっこう だいすき】 C よりよい学校生活、集団生活の充実 1 がっこう だいすき	授業や清掃の時間などの様子を描いた絵を通して、学校生活の楽しさについて考える。	先生や上級生、友達に親しみ、学校生活を楽しもうとする心情を育てる。	①学校で楽しみにしていることを、発表する。 ②授業中の絵を見て、子どもたちがどんな表情をしているか顔真似をし、どうしてその顔になっているのかを発表する。 ③休み時間と清掃時間の絵を見て、気づいたことや考えたことを発表する。 ④学校でどんな楽しいことがあるか、発表する。	【学校行事】 入学式のことについて想起できるようにする。 【学級活動】 「なかよくなるう」で楽しく遊んだことを思い出せるようにする。	4月の生活目標と関連
	【たのしい まいにち】 A 節度、節制 2 たのしい まいにち	食事や歯磨き、就寝など、児童の日常生活を描いた絵を通して、気持ちのよい毎日を過ごすことの大切さについて考える。	規則正しい生活をしようとする態度を育てる。	①朝、学校に来るまでにどんなことをしているか発表する。 ②P6 右の3つの絵を見て、「いいな」「同じだな」と思うことを発表する。 ③登校時の絵を見て、「いいな」ということ「おや？」と思うことを発表する。 ④P7 下の3つの絵を見て、「いいな」「同じだな」と思うことを発表する。 ⑤毎日気持ちよく過ごすために大切なことを考える。	【学校行事】 健康診断 歯科検診	養護教諭との連携
5月	【なかよくね】 B 友情、信頼 3 なかよくね	休み時間や給食の時間など、児童の学校内での集団生活を描いた絵を通して、友達の大切さについて考える。	友達と進んで関わり、仲よくしようとする態度を育てる。	①入学して、どのように友達ができたかを発表する。 ②休み時間と給食の時間の絵を見て、どのような場面でどんな声をかけ合っているか、発表する。 ③友達がいてよかったと思う経験を話し合う。④友達と仲よくなれる言葉を使って動作化する。	【国語】 「どうぞよろしく」で名刺交換をしたことを想起できるようにする。	
	【みんな いきてる】 D 生命の尊さ 4 みんな いきてる	美味しさや痛みなど、人間がもち合わせている感覚や感情を想起できる絵を通して、命について考える。	命を大切にしようとする心情を育てる。	①好きな食べ物を発表する。 ②「みんな いきてる」の絵を見て、どんなときにこのような気持ちになるかを発表する。 ③さまざまな場面で感じられる感覚や感情を思い出して、発表する。 ④これからの生活で、大切にしたいなと思うことを発表する。	【学級活動】 「楽しい給食」 【学校行事】 健康診断	栄養教諭との連携